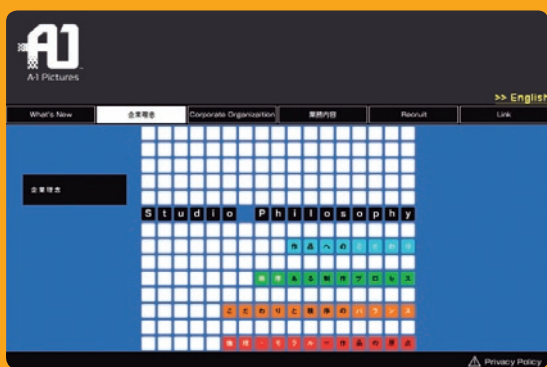




## 株式会社 A-1 Pictures

### デジタル化が進むアニメーション制作の現場

— データの高速処理で作業効率向上に貢献



「株式会社 A-1 Pictures」サイト

#### アプリケーション

アニメーション制作の現場においてはデータを高速に処理するためのクラスタ ストレージ

#### 課題

アニメーションの制作を行う株式会社 A-1 Pictures。アニメーション制作の現場では数百GBを超えるデータが頻繁に取り扱われます。将来的にはフルCG作品の制作も視野に入れるなど、データの増量は避けられない状況です。増え続ける大容量データを円滑に処理するためのストレージシステムを、同社は求めています。

#### Isilon IQ のメリット

A-1 Pictures ではさまざまなストレージを検証し、以下の理由により Isilon IQ を選択しました。

- クラスターアーキテクチャとアクセラレータにより、高速なトータルスループットが得られる
- ビジネスの成長に合わせた高い拡張性
- 運用管理の手間を軽減
- 最新のデータ保護機能などによる卓越した安全性

#### 新しいプロセスを積極的に採り入れた アニメーション制作スタジオ

幅広い世代に向けた良質のアニメーション作品の企画・プロデュースを行う株式会社 アニプレックス。そのアニプレックスが設立したのが株式会社 A-1 Pictures です。A-1 Pictures では新スタジオを東京・杉並区に開設し、2006年10月から本格的に営業をスタートしました。新スタジオは400坪を超え、創作に当たって十分なスペースと操作性を実現させるとともに、リフレッシュフロアを各階の間に配置するなど、現場のアニメーターがクリエイティブに専念できる環境を整えています。新スタジオに移転後は、2007年4月からスタートするテレビシリーズをはじめアニメーション作品の制作を複数同時に進行しています。

A-1 Pictures では3Dアニメーションをはじめとする新しい制作技術にも対応した映像作品の創出にチャレンジしており、当然ながら設備面でも最新の機器を揃えています。アニメーション制作プロセスにはデジタル化を中心としたCG技術を積極的に導入。また、工程管理のためのデジタル管理統合ソフトの導入も検討しており、最新の制作機材・システムのインフラ整備を図り、2D制作プロセスと3DCGプロセスを融合させたハイブリッド作品や、フル3D作品の企画・制作も視野に入れた制作ラインの確立を図っています。

#### 『 増え続けるコンテンツデータを高速・安全に処理 』

同社のアニメーション制作の工程では膨大な量の画像データ・動画データがやりとりされています。原画を描くまでの部分はアニメーターによる手作業が主流ですが、その他の作業はデジタル処理です。色塗りの工程は、原画をスキャナで取り込んでソフトで処理します。背景に関しても、原画は手作業で、色塗りはデジタル処理です。そして、できあがった絵をつなぎあわせて動画にする工程はすべてデジタルになります。



株式会社 A-1 Pictures  
総務部 システム管理  
吉岡 正善 氏

例えば、テレビシリーズの30分の作品を1話作るとすると、最終的な納品物としてのデータ容量は200~300GBにも上ります。当然ながら途中段階ではその数倍の生データが必要となり、データを保存するストレージに求められる性能も非常にシビアなものになります。新スタジオのシステム構築を担当した総務部システム管理 吉岡氏は、ストレージ選定の経緯を次のように語ります。

「まず大容量であること、そして将来の増設に備えて拡張性があることが大前提でした。また、作業プロセスの中で、ユーザーはネットワーク経由でストレージにアクセスし、データをクライアントに落としてから作業することになります。作品によっては背景データなど以前に制作したデータを流用する場合が多いので、保存先のディスクへのアクセスも頻繁になります。そこがボトルネックになってしまえば、作業効率が落ちてしまいますので、ディスクアクセスの高速なストレージが必要でした。I/O処理の高速化に対しては、サーバーヘッドを追加して対応する製品も検討し上りましたが、管理の煩雑さが懸念されました」

拡張性や運用のしやすさ、安全性の面も考えて複数の製品を検討した結果、A-1 Picturesでは、クラスタ ストレージシステムのIsilon IQの導入を決定しました。同社が求める機能を確保しつつ、しかも価格面でも他社より優位な製品であったため、ほとんど迷うことなく決定したということです。同社ではIsilon IQ 3000iを6台のほか、トータルスループットを向上させるためにIsilon IQ Acceleratorを2台導入。ネットワークアクセスが頻繁に行われるという同社独自のワークフローを実現しています。ストレージ製品の選定に当たっては、他のアニメーション制作会社を数社訪問し、情報収集に当たったという吉岡氏。他社と比較しても高い水準のシステムインフラを構築できたと自負しています。

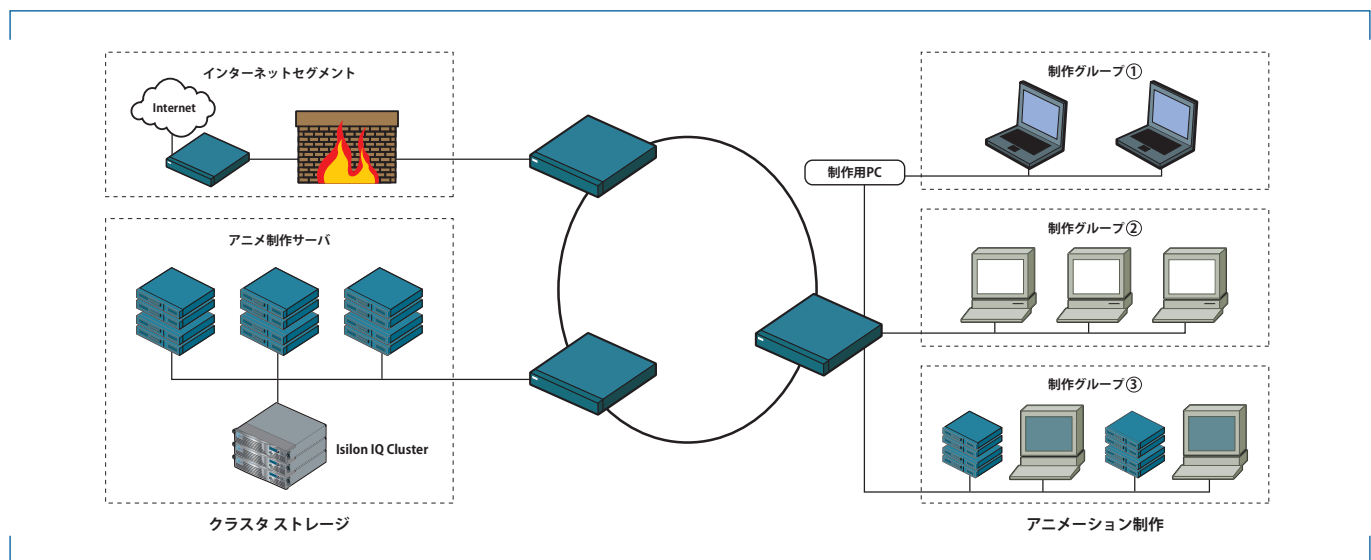
「新事務所の開設と同時にIsilon IQも稼働を開始して、現在までまだ数カ月しか運用していませんが、今のところトラブルもなく快適に作業ができています。将来、ディスクを拡張する際にIsilon IQの真価を実感できるのかもしれないね」(吉岡氏)

## フルCG、ハイビジョンなどさらなるデジタル化が進む

地上デジタル放送が本格的に開始されたり、ハイビジョン放送が一般家庭にも浸透するなど、映像のデジタル化は大きな波となって業界に押し寄せています。当然ながらアニメーション分野でもデジタル化が今後一層進むと予想されています。

「コンテンツの内容では高い品質を誇る日本のアニメーションですが、ことデジタル化に関しては世界と比較しても遅れを取っているのが現状です。色塗りに関して、ほんの5、6年前からやっとデジタル処理が導入されたくらいです。とはいえ、デジタル化、ハイビジョン化の流れは止めることができません。安定した品質の作品を供給していくためには、作業を効率化するためのデジタル技術は欠かすことができないものとなるでしょう。当社でもフルCGアニメの制作を視野に入れており、CG処理を行うレンダリングサーバーを導入する予定です。当社は新しい会社なので、従来のアニメーション制作会社と同じでは意味がないと考えています。Isilon IQのような新しくユニークなソリューションを積極的に導入して、新しいアニメーションを制作していきたいと考えています」

デジタル化の波をいち早く捉え、従来にないアニメーション制作プロセスの確立に挑戦するA-1 Pictures。新時代のアニメーション制作の現場をIsilon IQが支えています。



### 開発元



### アイシロン・システムズ株式会社

〒151-0053 東京都渋谷区代々木 1-22-1 代々木1丁目ビル 12階  
Tel : 03-5358-7188 (代表) Fax : 03-5333-4443  
Email : sales-jp@isilon.com [www.isilon.co.jp](http://www.isilon.co.jp)